

平成 29 年度女性化学者奨励賞候補者推薦方法について

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および女性化学者奨励賞選考委員会規則により、つぎのとおり定められている。

- (1) 女性化学者奨励賞は、化学の専門性を活かした学術研究に傑出した業績と貢献がある者で、社会貢献にも務め、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与し、将来の科学者・技術者を目指す学生や若手研究者の目標となる本会女性の会員を対象とし、年齢が受賞の年（平成 30 年）の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者に授与する。
- (2) 女性化学者奨励賞は、他の賞を受けた者も受賞の対象とすることができる。

2. 提出書類〔返却しない〕

- (1) 支部長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (2) 会長あて候補者推薦書（別紙用紙を使用）
- (3) 候補者調書
 - 1) 研究歴（別紙用紙を使用）
 - 2) 業績内容説明書（別紙用紙を使用）：研究成果の概要（1400 字以内）、化学の専門性を活かした研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけ、研究状況、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与したことなどを反応式、構造式、図・表を含めて具体的かつ簡潔に A4 判用紙 4～5 枚程度（8000 字以内）にまとめる。
なお、候補者の業績が共同グループによる研究であって、過去にそのグループの業績に対して本会賞が授与されている場合は、賞名、年次、受賞者名、題目を説明書の末尾に付記すること。
 - 3) 業績目録（別紙用紙を使用）：当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20 件以内のリスト。論文と総説に分けて記入。なお、下記 4) の提出論文には○印を付すこと。
 - 4) 論文または総説の別刷 5 報以内を各 15 部、15 組セットにする。コピーでも可。

3. 書類執筆上の注意

- (1) 清書は、ワープロ印書とすること。
- (2) 年号は全て西暦で統一すること。
- (3) 会長あて候補者推薦書の推薦支部、支部長の欄は、推薦者作成者（または候補者）が記入すること。 *本年度の各支部長名は次頁に記載。
- (4) 候補者氏名、勤務先と職名欄は日本語と英語を記載すること。
(記入例)

候補者氏名	(ふりがな) かがく はなこ (日本語) 化学 花子 (英語) Hanako KAGAKU	会員番号	
		生年月日	西暦 年 月 日

勤務先と職名	(日本語) 東京大学大学院理学系研究科化学専攻：教授 (英語) Department of Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo : Professor
--------	---

- (5) 業績目録は、下記例のとおり記載し、論文、総説、著書などを区別して記載すること。ただし、論文、報文の中に印刷中(in press)の査読論文(審査のある論文)は加えることができるが、投稿中(submitted)の場合は記載できない。論文誌でないもの(たとえば「化学と工業」)に掲載されたものは解説記事として取り扱い、査読論文と区別する。国内、国際会議での口頭発表、招待講演は書かない。
- (6) 業績目録中、共著論文に関しては、候補者が総括研究者、または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付ける。
〔例〕(35) Molecular-Sieve Type Sorption on Alkali Graphites, M.Wada, S.Suzuki, K.Saeki, Bull.Chem.Soc.Jpn., 83, 2656 (2010)〔主〕
- (7) 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦書」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を1頁目とし、「研究歴」、「業績内容説明書」、「業績目録」の順に、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

4. 推薦書提出先および提出締切日

候補者が所属する支部の事務局へ提出する。

締切日は各支部によって多少異なるので支部事務局に確認すること。

5. 平成 29 年度選考委員会開催日

平成 29 年 10 月～11 月 (日時未定)

*平成 29 年度日本化学会各支部長 (敬称略)

- ・北海道支部長 及川 英秋
- ・東北支部長 正田晋一郎
- ・関東支部長 小柳津研一
- ・東海支部長 古賀 伸明
- ・近畿支部長 桑畑 進
- ・中国四国支部長 江幡 孝之
- ・九州支部長 柘植 顕彦

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持いたします。なお、受賞者の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

以 上

女性化学者奨励賞

候補者調書の作成に当たって

1. 適当な A4 判用紙に作成のこと。
2. 用紙の余白は左右約 2.5cm とること。
3. タイトルを除いて 10 ポから 12 ポ程度の活字とすること。
4. 原稿は横書きとし、1 ページの行数は(40 文字×40 行)程度とすること。
5. 「業績内容説明書」は、参考文献を別として①研究成果の概要を 1,400 字以内に、②化学の専門性を活かした研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけ、研究状況、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与したことなどを 8,000 字以内にまとめること。
6. 年号は全て西暦で統一すること。
7. 支部へ提出の際には「支部長宛の推薦用紙」を添付し、「会長宛候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「研究歴」「業績内容説明書」「業績目録」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。

推 薦 書

年 月 日

日本化学会
支 部 長 殿

支 部

学会賞
学術賞
下記の者を 進歩賞 受賞候補者として推薦します。
女性化学者奨励賞 (該当を○で囲んで下さい。)
化学教育賞
化学教育有功賞

候補者氏名 (勤務先)	()
----------------	-----

推薦者氏名 (勤務先)	印 ()
----------------	----------

推薦者連絡先	(所在地) 〒 Tel. FAX. E-mail
--------	---

注) 推薦書は毎年更新していますので、平成 29 年度のものを使用してください。

整理
番号

平成 29 年度 女性化学者奨励賞候補者推薦書

年 月 日

日本化学会会長 殿

_____ 支部

支部長 _____

下記の者を女性化学者奨励賞候補者として推薦します。

	候補者氏名	(ふりがな)	会員番号	
		(日本語)	生年月日	西暦
		(英語)		年 月 日
候補者	勤務先と職名	(日本語)		
		(英語)		
	勤務先所在地	〒		
		Tel.	FAX.	E-mail
	最終学歴		学位	
候補者	現住所 (自宅)	〒		
		Tel.	FAX.	E-mail
	連絡先	勤務先 ・ 自宅 (どちらかに○印を付けて下さい)		
候補者	研究題目	(和文)		
		(英文)		
候補者	過去における 受賞歴			

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

研究歴 (学歴・職歴を含む)

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績内容説明書

研究題目	
1. 研究成果の概要 [1,400字以内にご記入下さい。10～12ボ程度の活字を使用すること]	

2. 化学の専門性を活かした研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけ、研究状況、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与したことなど
[反応式、構造式、図・表などを含め、本用紙 4～5 枚(約 8,000 字以内)にご記入下さい。]

以下 1 頁 40 行程度(10~12 ポ)で、次項以降はこの頁をコピーしてお使い下さい。

業績目録

以下の項目別に、また、新しい方から年代順にご記入下さい。

- 1 当該研究に関連のある主要な論文(総説を含む)20件以内。論文と総説に分けてご記入下さい。
なお、提出論文には○印を付して下さい。
- 2 全原著論文(ただし、上記の論文との重複は避けてください。)

